

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきざしましょう



民秋市長

うらかな春の季節を迎え、ここに向日市立寺戸中学校が立派に竣工し開校できますことは、市長として大きな喜びであります。

写真のとおり、明るく新設した寺戸中学校は、普通教室22、特別教室9、職員室などを備え、体育館も同時の完工をみており立派に設備も完備したわけです。

中学校の名称につきま

輝かしい校風を培い充実・発展を

市立寺戸中学校 開校にあたって

千三百年前の先人が、学校所在の周辺地において寺戸用水と呼ばれる、かんがい用水路を開発し、

地域の発展に寄与した偉業を尊び、二十一世紀に飛躍する願いをこめて、寺戸中学校としました。

生徒のみならず、この中学校で勉学に励まれますが、この立派な学校を愛し、諸先生がたのご指導により、熱心に勉強して次の時代の日本をになう人として、その基礎を養っていただきたいと存じます。

最後に、校長先生をはじめ諸先生がた、校友会関係者および生徒諸君が全校一致して、輝かしい校風を培われ、将来に向かって立派な歴史を有する学校に充実、発展されんことを念じてやみませ

生まれ変わる市内3中学校 向日市立中学校としてスタート

三月いっばいで解散した京都府乙訓中学校事務組合は、昭和二十二年四月に乙訓中学校の新設を契機として、乙訓地域の町村により「乙訓郡向日町ほか七か村学校組合」として設立。中学校教育施設の整備充実、教育環境の整備、教育内容の充実が図られてきました。

しかしその後、生徒数の急増により、向日市・長岡京市・大山崎町・京都市の各構成団体に中学校を建設するに決意。向日市立中学校として、校名も乙訓中学校から勝山中学校、第四乙訓中学校、新設中学校は寺戸中学校としてスタート。

四月八日には、三中学校の開校式が行われまし

京都府乙訓中学校事務組合が、三月末で解散し市内の三中学校が、四月から市立中学校に生まれ変わりました。

校名も向日市にふさわしく、乙訓中学校は勝山中学校、第四乙訓中学校は西ノ岡中学校、新設中学校は寺戸中学校としてスタート。

四月八日には、三中学校の開校式が行われまし

4月8日 寺戸中学校が開校



寺戸中学校

寺戸中学校の開校式が、四月八日午前九時から、体育館で開かれ、二・三年生の生徒を中心に、関係者が開校を祝いました。

寺戸中学校は、鉄筋コンクリート造り四階建て二棟うち一部三階。敷地面積二万六千七百八十九平方メートル、校舎延べ床面積五千二百六十六平方メートル、体育館延べ床面積千四百平方メートル。普通教室二十二特別教室九(技術・図書・障害児・家庭科調理・被服・音楽・美術・第一理科・第二理科)、その他校長室・職員室・保健室などを備えています。

また、運動場は周囲をフェンスで囲み、野球のバックネットなどを設置しています。

総事業費は、三十四億二千九百万円でした。

所在地 寺戸町蔵ノ町1番地

校長 玉木俊一

生徒数 732名(4月1日現在)

学級数 19学級



勝山中学校

所在地 鶏冠井町風畑24

校長 村上丈利

生徒数 1173名(4月1日現在)

学級数 29学級



西ノ岡中学校

所在地 物集女町吉田1番地

校長 八木崇

生徒数 635名(4月1日現在)

学級数 16学級

あなたの意見を市政に 市政モニターを募集

市政モニターとは

市政モニターは、市民生活に直結した市政を進めるための、行政と市民のパイプ役です。市では、市政モニターの意見や提案を市民の声として、市政に反映させていただきます。

- モニターのしごと (1)市政全般にわたる意見・要望・地域の話題などの提供 (2)アンケート調査の回答 (3)モニター懇談会・研修会(年4回程度)への参加 (4)公共施設などの見学会への参加

【お問い合わせ】 秘書広報課広聴係 内線251

- 【応募資格】 満20歳以上の向日市民で、市政に積極的な提言をする意欲のある人。性別・職業は問いません。ただし現在、向日市政モニターである人、公務員の方は除きます
- 【任期】 昭和57年7月1日～昭和59年3月31日
- 【募集人員】 30名
- 【決定】 応募者多数の場合は、地域、年齢、性別

- などの構成を考えて決定
- 【募集期間】 4月15日(木)～5月31日(月)
- 【申込方法】 申込用紙に住所・氏名・年齢・職業および応募の理由・市政のどのような部分に関心があるかなどを記入し、秘書広報課広聴係へ提出してください。なお、申込用紙は秘書広報課広聴係にあります。